

よくよく見れば、あの場所に

1.) 学習のねらい

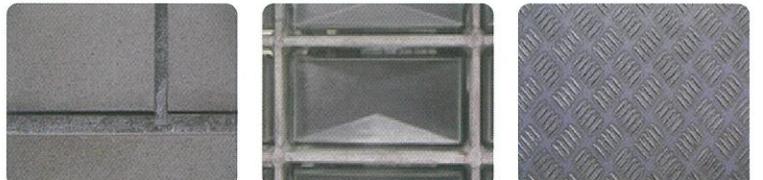
- 身近な景観を構成する要素の多様性に気づき、その特性を感覚的に把握し、その直接的な要因を意識する。
- 普段見慣れた景観を俯瞰するのではなく、まちを構成する素材のよさやおもしろさに関心を持つ。
- まちを構成する素材（壁・塀）等の材料の質感に気づく。

2.) 学習活動

- 出会う** ●無意識のまま眺めていた景観の中にさまざまな表情があることを知る（素材との出会い）。
- つくる** ●担当する地域にある素材のクローズアップ写真を撮り、問題をつくる。
- さがす** ●他の班が写した部分の場所とそのモノ自体をさがす。
- 気づく** ●さまざまな素材・材料に囲まれて生活していることに気づく（小学校中学年の「景観まちづくり学習」は“気づく”ことから）。

写真の例

「どこにある?どの部分でしょう?」



3.) 準備するもの

【用 具】

- デジタルカメラまたはレンズ付きフィルム（各グループに1台）
- デジタルカメラを使用した場合はプリンタ
- 写真を貼るための台紙
- 地域の白地図
- バインダー、筆記用具

【場 所】

- 教室、学校内、学区域など

4.) 学習の流れ(授業展開のイメージ)

	学習のねらい	学習活動	教師の指導	評価
STEP 1 【1時間】	素材の持つ表情のおもしろさに気づく	<ul style="list-style-type: none"> ●素材の写真から、様々な表情を知る。壁、木の幹など建物や自然物の表面の写真から学校のどの部分か探す。 ●カメラの扱い方や撮影の手順を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校内で撮った“部分”的写真を提示し、クイズをする。 ●撮影の手順とカメラを扱うときの注意点を指導する。 	活動の意欲(観察)
STEP 2 【2時間】	他の友だちと協力しながら探す	<ul style="list-style-type: none"> ●地域班ごとに5~6人のグループに分かれ、地図とカメラを持っておもしろそうな表面を探しに行く。 ●見つけた表面の写真を撮る。場所と本体を地図に記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域班地図の準備。 ●地域班ごとのグループ分けの指示。 ●注意事項の確認。 ●各班に1人大人が付き添えるように手配。 ●見つけた表面のクローズアップと全体像の2枚の写真を撮らせる。 	課題追求能力(観察) コミュニケーション能力(観察)
STEP 3 【1時間】	見つけた所の写真を自分なりにプレゼンテーションする	<ul style="list-style-type: none"> ●撮影した写真をもとにワークシートを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●撮影した写真を美しく見せられるようにワークシートの形式をデザインできるようにする。 	表現力(作品)
STEP 4 【2時間】	自分や友だちの発見のよさに気づく	<ul style="list-style-type: none"> ●他のグループが作成したワークシートと地図を持って、その写真がどこの何の写真かを調査しに行く。 ●調査結果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●発表場所の設定。 ●子どもたちのがんばったところ、視点のおもしろさを見つけ、言葉がけで評価する。 	表現力(発表・観察) 自己評価力(発表・観察)

5.) 留意点

- 素材の写真は、掲示物としても十分楽しめるように台紙のレイアウト等デザインできるようにする。
- まち歩きの際の交通安全を確保する。特に、観察中や写真撮影中の児童は周囲への注意が疎かになりがちになるため、安全には十分配慮する。
- 大きな単元の導入部分として実施するのに適しており、他のプログラムと組み合わせることが望ましい。

6.) 発展へのヒント

- まだ実施していない場合は「No.02：これはどこだ？探してみようまちパツ」を行う。
- 「No.04：まちの色・いろいろ」を行う。
- オリエンテーリング形式で、まちのおもしろいモノを探す。
- 色と素材のパターンを言葉で表現するとともに、それを活かした教室のインテリアを考える。

モデルプログラム活用



グループに分かれてクイズづくりをしました。どんなヒントを書いたら、おもしろいクイズになるかな?



こんなモノがあるなんて知らなかつた!!
学校の中で、まちの中で、いろいろおもしろいモノを撮りました。縦にしたり横にしたり、上から見たり下から見たり、まちを構成する素材のおもしろさを探しました。



クイズの答え探しに行きました。みんなで考えを出しあって、答えを見つけました。



つくったクイズの発表会をしました。探すときの視点や見つけたときの感動、作品に対する思いを、作成者から直接聞いて体験の共有を図ることができました。



「一部分だけ写したのがいい」「いろいろなモノが組み合わさって不思議」など、おもしろさに気づいていました。

ここでは、モデルプログラムをもとに行なった取り組みの様子を掲載しています。実際に取り組んだ学校の授業の様子や先生の声を事例集で紹介しています。併せてご覧ください。

景観まちづくり学習モデルプログラム(題材)

よくよく見れば、あの場所に

No. 03

| 身の回りの建造物や樹木などの表面をクローズアップの写真に撮り、クイズ形式で出題し合い、素材の持つ表情に気づく。



力エルの目



お花もよう



UFO

対象学年・関連教科

【対象学年のめやす】

総合的な学習の時間

●小学校3・4年生

【関連する教科】

●図画工作

●社会